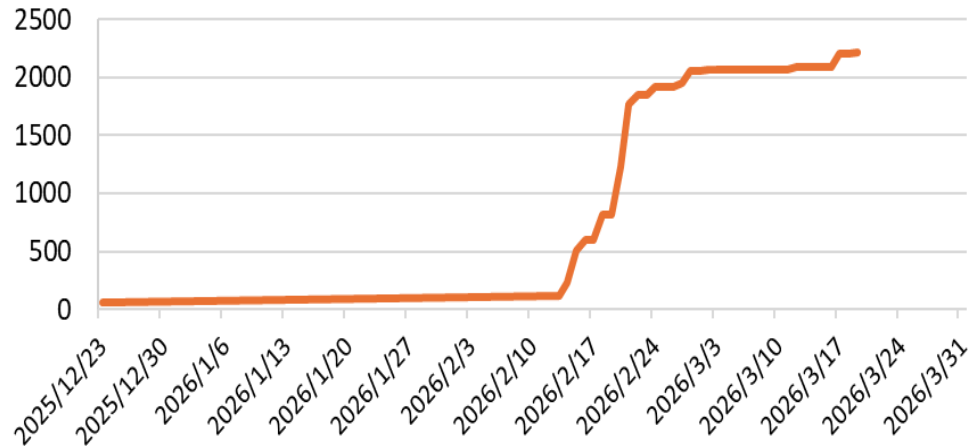


# 令和7管理年度 小型いか釣り漁業の するめいか試験操業結果

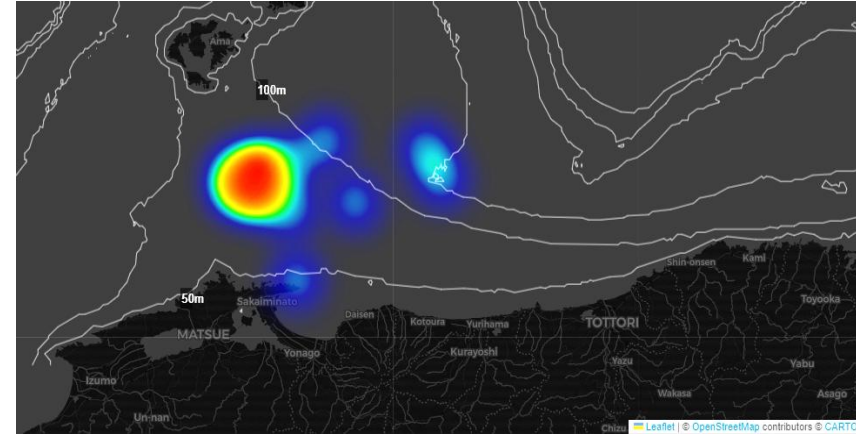
鳥取県水産試験場

# 試験操業結果

小いかスルメイカ試験操業の累積漁獲量kg



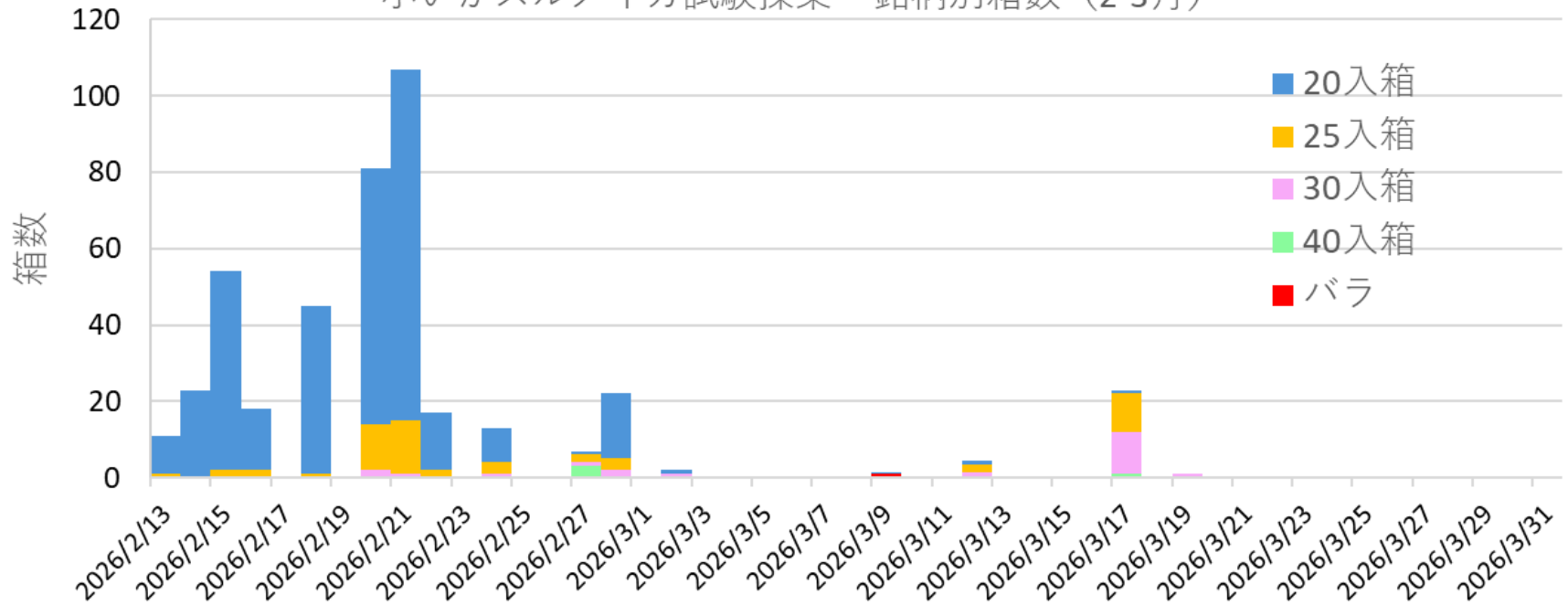
漁場ヒートマップ



- ・ 12月19日～3月末の間、7隻（境港6隻、網代1隻）から計42件、野帳提出があった
- ・ すべて10トン以上船からの報告であり、10トン未満船からの報告はなかった
- ・ 2月中旬から漁獲が積み上がり、期間中、概算で2.2トンの水揚げがあった
- ・ 主な漁場は隠岐海峡の水深70-80m

# 試験操業結果

小いかスルメイカ試験操業 銘柄別箱数 (2-3月)

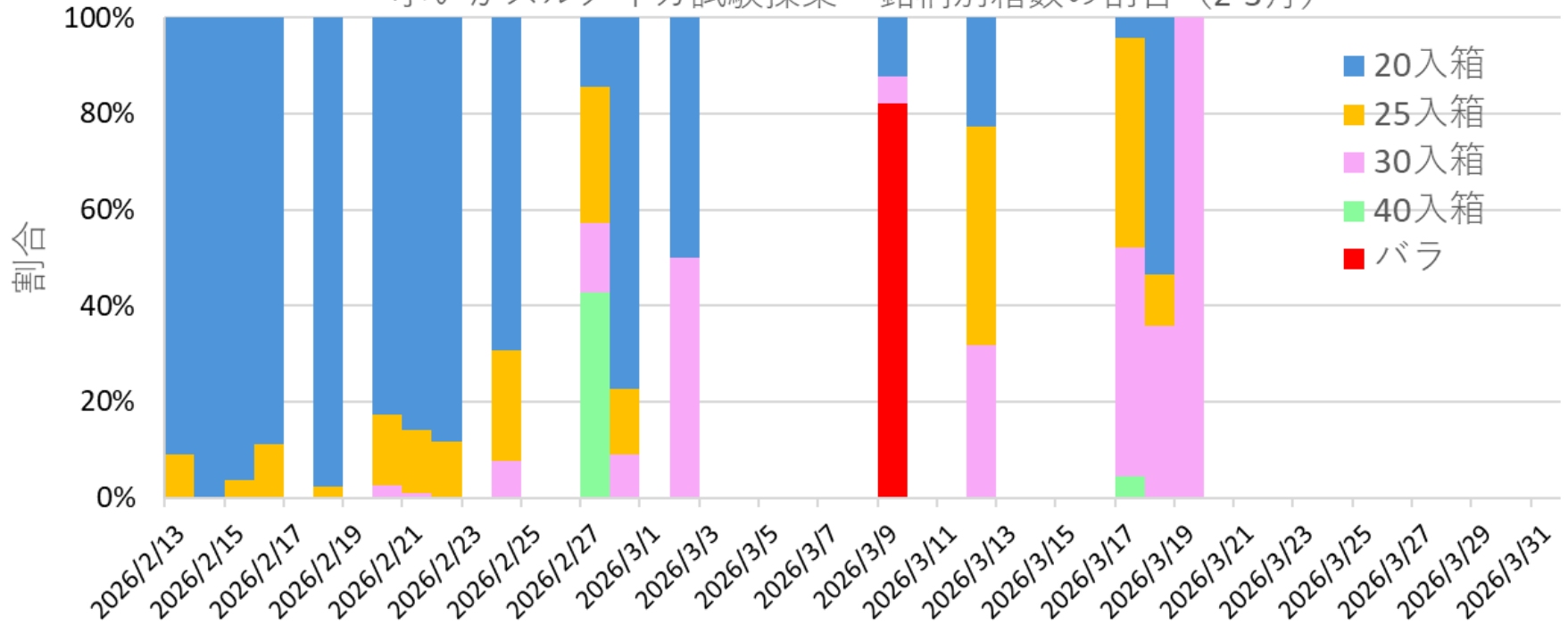


年	月	20入箱数	25入箱数	30入箱数	40入箱数	バラ箱数
2025	12	13.4	0	0	0	0
2026	1	0	0.08	0	0	0
2026	2	346	42	7	3	0
2026	3	3.4	12	14.6	1	1

定説に基づく、20入,25入は南下回遊してきた冬季発生系群  
30入,40入は北上回遊を行う秋季発生系群と考えられる。

# 試験操業結果

小いかスルメイカ試験操業 銘柄別箱数の割合 (2-3月)

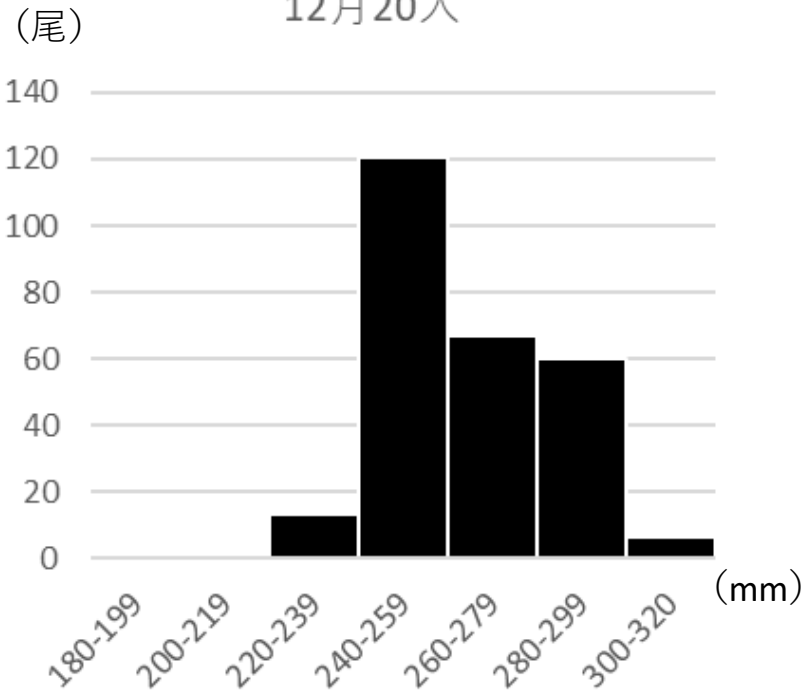


3月2日頃から、冬イカと春イカが半々程度混じり合い、直近年と比較し、変わった傾向は確認されなかった

# 試験操業結果

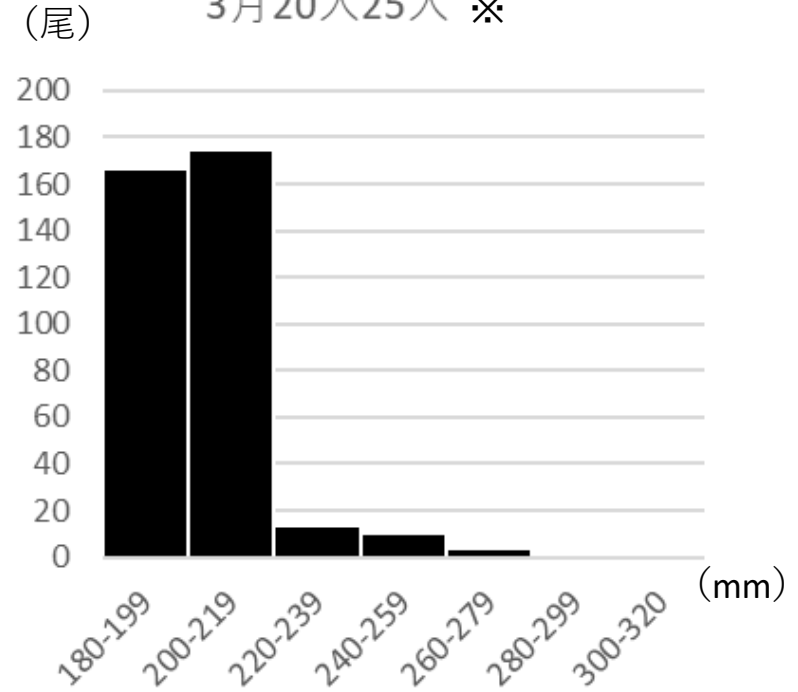
外套輩長組成

12月20入



外套輩長組成

3月20入25入 ※



魚体購入は12月22日と3月12日に実施

外套輩長組成について、12月は240-259mm、3月は200-219mmにモード

※3月は30入,40入,バラ銘柄の水揚げもあったが、少数で買い付けできなかった。